

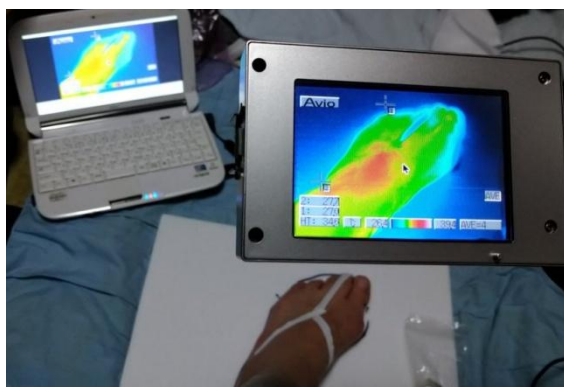
<G オイル・A オイル・ 山口さんのしっとりオイルの温度変化レポート>

&<A オイルの抗菌レポート>

<G オイル・A オイル・ 山口さんのしっとりオイルの温度変化>

G オイル、A オイル、 山口さんのしっとりオイル

上記オイルを、足甲の所定の部位に塗布し、5 分後、しっかりと拭った後の温度変化分を 3 分間毎に計測し、温度変化分を解析する。



A オイル塗布エリア

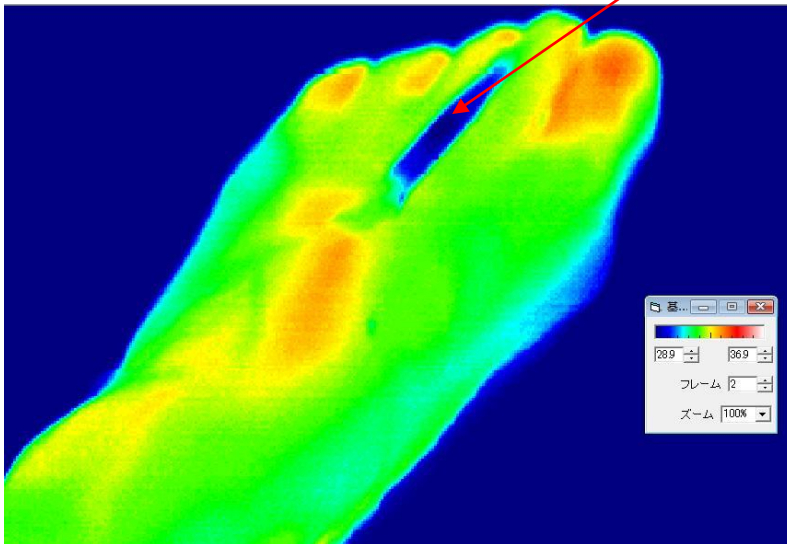
G オイル塗布エリア



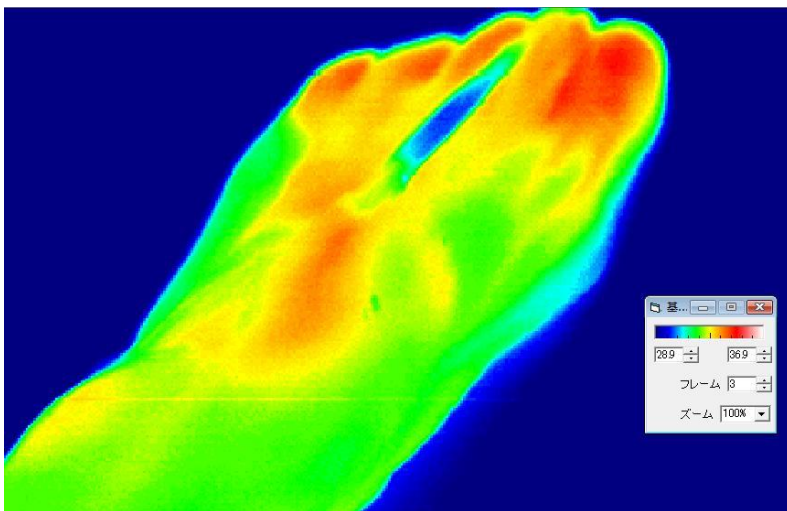
山口さんのしっとりオイル



テーピングの温度



3 種オイル塗布 5 分後キレイに拭いて直のサーモ画像（温度レンジ：28.9～36.9）

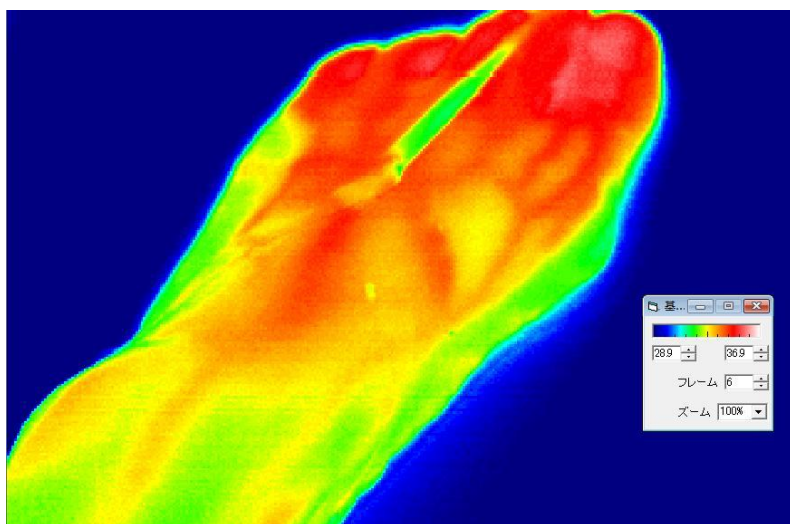


キレイに拭いて 3 分後のサーモ画像（温度レンジ：28.9～36.9）

G オイル) 塗布した親指に顕著な温度上昇確認。

A オイル) なだらかに温度上昇。

山口さんのしっとりオイル) 若干の温度上昇を確認。

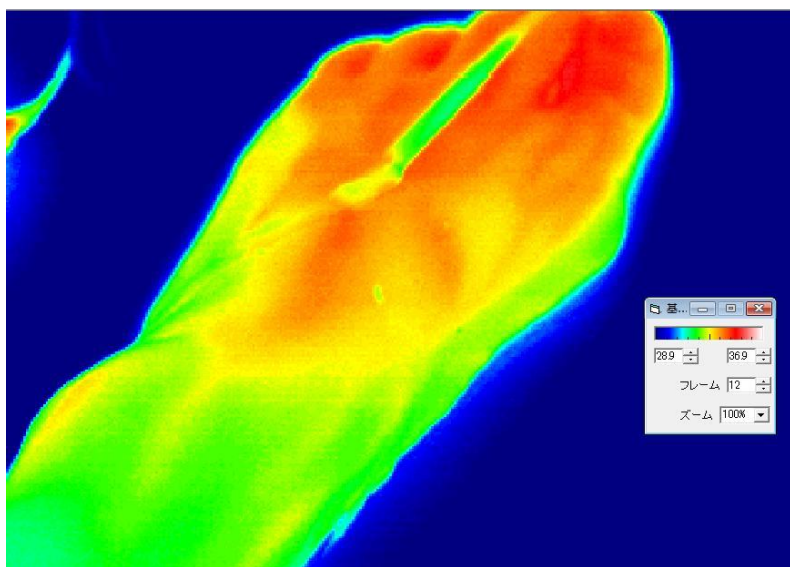


キレイに拭って 10 分後のサーモ画像（温度レンジ：28.9～36.9）

G オイル）塗布した親指に更に大きい上昇幅の温度上昇を確認。

A オイル）塗布した指周りに顕著な温度上昇。

山口さんのしっとりオイル）若干の温度上昇を確認。

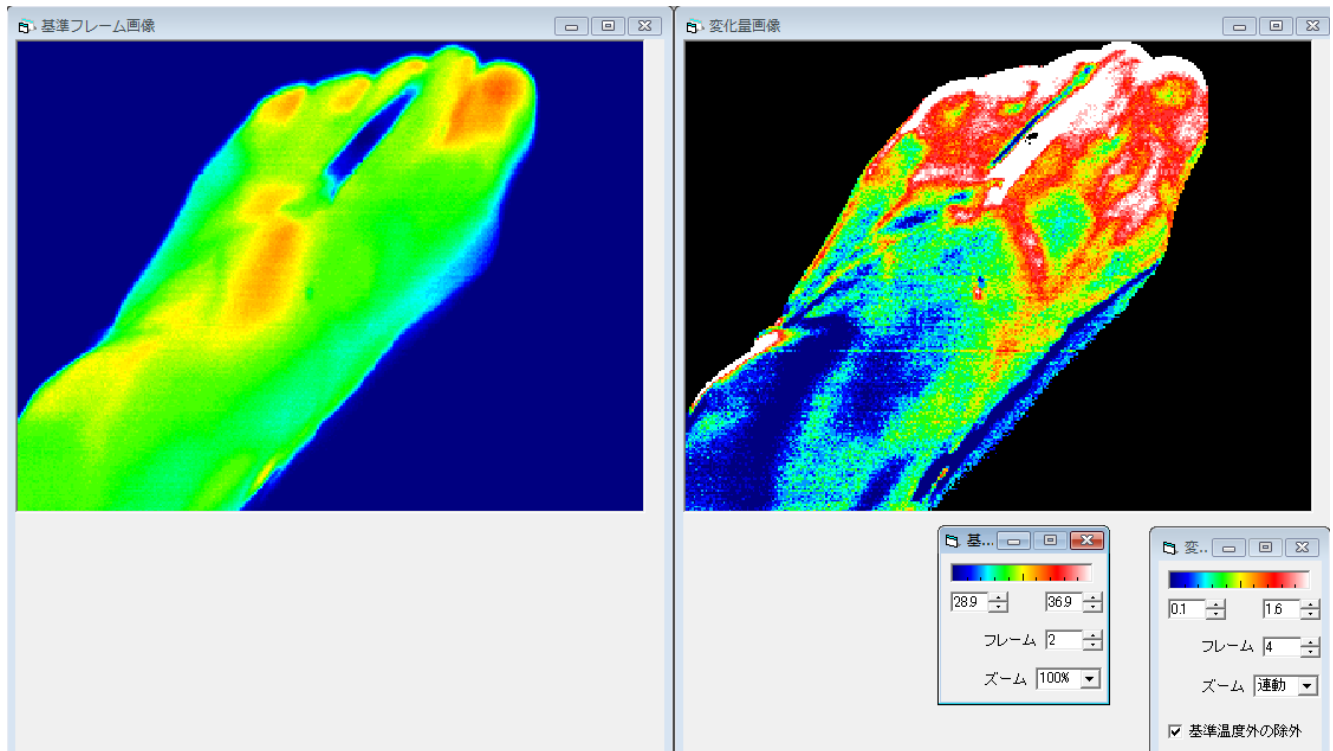


キレイに拭って 27 分後のサーモ画像（温度レンジ：28.9～36.9）

G オイル）塗布したエリアの温度変化は平衡域に。

A オイル）塗布したエリアの温度変化は平衡域に。

山口さんのしっとりオイル）温度変化……平衡域と想像



キレイに拭って 6 分後の差分サーモ画像（温度レンジ：28.9～36.9）

足指の温度上昇が確認できる。

最大で 2.5 度の温度上昇を確認。＜冷え症の方には有益かも＞

加えて、（山口さんのしっとりオイル）塗布部位の温度変化が下降傾向に動いているのが確認出来る。温度起因の鎮静効果が確認出来る。

最大温度上昇は、

G オイル）：2.0 度上昇

A オイル）：2.1 度上昇

山口さんのしっとりオイル）：0.8 度上昇

<A オイルの抗菌レポート>

“A オイル” の抗菌・除菌効果検査を、「株式会社環境公害センター」にて実施しました。

結果、

0.1g (/100ml) 濃度 “A オイル” 100ml 中のコロニー数は 570 コロニー。

0.5g (/100ml) 濃度 “A オイル” 100ml 中のコロニー数は 260 コロニー。

1.0g (/100ml) 濃度 “A オイル” 100ml 中のコロニー数は 180 コロニー。

(1 コロニー : ≒10 億)

(※参考：一般水道水の安全基準値は 100ml 中の生菌は 100 以下)

推測

“A オイル” 中の溶解酵素濃度を上げることで、単位 100ml 中の菌群の増加が大きく軽減された。

この結果により、この “A オイル” を菌群への影響最適濃度でオイル化すれば、塗布する事で、長時間の抗菌・滅菌効果（バリア）が期待できる。

又、

粘性の薄い水溶液とし、衣服、マスク他、滅菌・抗菌を施す必要のある部位へ噴霧すれば、幅広い滅菌・抗菌が期待でき、感染防止に大いに役立つ。

(Note)

“A オイル” 構成の基本となるアルギニンを用いた新しい消毒剤の研究論文には、コロナ系ウイルスの不活性化が確認できたとする内容が明記されている。

“A オイル” のウイルスへの影響検証は現段階で出来ていないが、コロナ系ウイルスの不活性化にも効果があれば、ウイルスの感染防止に大いに活用が考えられる。